

# とちの実会だより

2月号 2021年

〒321-0162 宇都宮市大和 2-12-27  
 小牧ビル1階 ナルク栃木 (とちの実会)  
 Tel: 028-684-0050 FAX: 028-645-8380  
 eメール: t-nalc@galaxy.ocn.ne.jp  
 ホームページ: <http://www.nalc-tochigi-hp.com/>

## ☆コロナ禍の下、三役会が運営委員会を代行・1月19日(火) 緊急事態宣言の下、ナルク活動も大きな制約を受ける

**A. コロナ禍のナルク活動:** 1月6日宇都宮市が独自に緊急事態宣言を発出後、政府は東京都と周囲の3県に加え、栃木県などにも同宣言が発出されました。規制の中心は3密、特に“不要不急の外出”とマスクは報じています。



ナルク活動は人が集まり、話し合い、困っている人には寄り添い、話し合うことから始る活動です。

“外に出るな、話をするな”は活動に大きな支障となります。(2月7日栃木県のみ、この宣言から除外されたが、未だ安心はできないと思います)

この宣言発出を受け、「ナルク栃木」では先ず運営委員会(1月・2月)開催を中止と決め、その代行も含めて三役会を(1月19日とちぎアグリプラザ)開催しました。

**\*高齢化とコロナ禍で組織の機能低下は誠に残念ですが、先ずはコロナに負けず、ナルクの理念を将来に向け発展させようではありませんか。(走出)**

**注記:** ナルク栃木には次の4組織があります①**運営委員会**は毎月30名の委員が集まり、活動報告と課題検討、活動日程を調整する大切な会議です。

②**三役会**はナルク幹部11名で構成し、運営委員会の上部組織です。

③**ブロック会**(4ブロック) 地区別の仲間が身近な助け合い活動と課題を検討する活動の実践組織。この他に④**各種同好会活動**(10団体)があり会員各位が趣味を通して親睦を深め、活力を養う目的です。これら殆どの集会在コロナ禍で活動中止の現状です。

**B. 1月19日三役会議課題検討事項:** 運営委員会中止を配慮し集約しました。

① 各ブロック長からの報告(抜粋)は、「入会時の適切な説明の必要性」、「小人数での行事開催」、「独居会員へのアンケート実施」、「各ブロックでの活動と全体での活動」、「ふれあいネット」、「オンライン登録で情報の共有」など。

② 預託活動は提供者と利用者一覧により、件数や内容を把握する。活動報告書を基に、提供者と利用者との関係を把握し今後の活動に活かす

③ 「ナルク栃木運営規則」の見直案の検討。新ビジョンの推進と現在の活動に沿って、更に会員の高齢化を見据えたものとなるよう運営規則を見直す。

④ 「エリア17北関東全体会議」をリモートで開催予定。(他省略)など。

2月の運営委員会も中止ですので、三役会で代行いたします。(金敷)

## 事務局だより（活動実績は12月分を記載）

## ○会員動向（2020年12月末現在）

世帯数	会員数	男性	女性	年齢
386	551	216	335	74.7
入会 0	0	0	1	
退会 3	4	2	2	



## ○時間預託・奉仕活動

- ・ポイント（高齢者等地域活動支援ポイント事業）
- ・サービスB（日常生活支援総合事業訪問型サービスB）

	時間預託	奉仕活動	ポイント	サービスB
12月合計	64名 411点	90名 434点	21名 25P	2名 9.0時間
4～12月累計	103名 3,249点	141名 4,235点	64名 322P	4名 88.5時間

## ○時間預託活動提供者（敬称略）

活動内容	件数	提供者氏名
送迎	84	赤井 勤、遠藤 美継、大塚 啓子、大村 盛治、鈴木 忠男、田中 克宏、成島 フミエ、横島 勲、北村 公子、高倉 浩三、三浦 則夫、堀 和夫、秋山 清一、上野 真由美、大貫 五十鈴、神原 守信、島村 正幸、高橋 守雄、高橋 良子、福川 正勝
外出介助	28	赤井 勤 加藤 不二子、成島 フミエ、走出 政視、高倉 浩三、堀 和夫、大貫 五十鈴、神原 守信、高橋 守雄、高橋 良子
庭の手入れ	17	赤井 勤、板橋 千恵、大村 盛治、成島 フミエ、安場 博、菊地 正一
住宅清掃	7	加藤 不二子、安場 博
その他	5	赤井 勤、加藤 不二子、小谷 静代、高木 ひろみ、成島 フミエ

## ○訪問型サービスB（敬称略）

サービスB	9.0h	加藤 不二子、高木 ひろみ

## 行事予定（2月17日から）

お問合せ：ナルク事務所 TEL684-0050 ㊦＝宇都宮市ポイント対象事業活動

月日	曜日	行事名	開催場所	開始時間
2月17日	水	三役会	アグリプラザ共用	10:00
19日	金	エリア17会議(Zoom) 協働(株)マルハ	事務所 会員宅	14:00 午後
22日	月	アルミ缶整理作業	大谷集積場	9:00
25日	木	協働(株)マルハ	会員宅	午後
3月10日	水	会報発行作業	事務所	10:00
16日	火	三役会	アグリプラザ研修室	10:00
22日	月	アルミ缶整理作業	大谷集積場	9:00

家にこもりがちなこの頃、いかがお過ごしですか？ 何かお困りのことなどはありませんか？ そんな時は、ナルク栃木（事務所TEL684-0050）にお気軽にご相談ください。

## ナルクを支える仲間達 (7)

齋藤弘子さんとの出会いに感謝

横島勲 記

齋藤弘子さんとの最初の出会いは、シルバー  
大学校の時に、平成24年度の同期生でした。同  
好会「盆おどりクラブ」では、齋藤弘子さんは  
踊る人、私はマネージャーとして活動しました。  
そんな出会いからいろいろな交流があり、卒業  
後にナルクへの入会を勧めました。入会後は、  
とにかく明るい性格で、庭の手入りを頼まれる  
と4ブロック全部からの依頼を快く受けていた  
だき、西・南・東・中と広く活動してくれています。また、夢大地応援  
団への参加、飛山城跡地利用のどんぐり育苗にはほとんど休みなく参加  
してくれます。



同じ会員仲間からは、「ナルク事務所で、活動報告書の整理を黙々と  
作業されている方がおられ、その方が齋藤さんでした。きっちり作業さ  
れる方だなおもいました。草取りなどの外作業も快く引き受け、ほん  
とにきれいな仕事をしてくださいます。日頃から、宇都宮市の健康ポイ  
ント事業などにも参加され、身体を動かすことに貧欲に取り組まれている  
からだとおもいます。手芸・裁縫なども達者で、スマホもどんどん活  
用され、年齢を感じさせない方です。私も、齋藤さんのように年齢を重  
ねていけたら…と思うのです。」とお聞きしました。

私自身も齋藤弘子さんとの出会いに感謝し、前を向いてナルク栃木を  
楽しく過ごせるように様になりたいと思います。

### ☆齋藤弘子さんのコメント☆

横島さんに「ナルク栃木」を紹介され入会してこれまで元気に活動で  
きたのも、横島さんご夫妻や皆様に支えていただいたからと、深く感謝  
いたします。まだまだ活動したいと思っておりますが、この歳になると、  
心と身体は違うものだ、と実感しています。健康第一に無理せず頑張ろ  
うと思っていますのでよろしくお願いいたします。

会報原稿が少ないこの期に、過去の会報から、印象深く心に残る紙面をここに再登場させ、会員皆様に“あの頃は元気で楽しかったな！”とか、“良くやったね！これからも頑張ろう”との気持ちを起こしてもらうため、「**とちの実だより・思い出の1ページ**」を掲載します。

まず、2014年6月号1面、2面をその続面再掲します。

## バス3台連ね仙台へ・・・ナルク設立20周年記念大会に参加

### 社会保障の変化と助け合い活動を考える機会・5月26日

仙台市の「電力ホール」にて開催、111拠点、1309名参加、うちナルク栃木から115名参加。今回のシンポジウムは記念大会の主要テーマである。

#### 1. 堀田力先生の「被災地における地域包括ケア」基調講演で始まる。



その要旨：「人口が減少していく地域で、最後まで自宅で暮らせる医療や介護、生活支援のサービスができるのか。できる可能性があるとはいえ、行政のタテ割り、医療や介護の事業者の消極的な姿勢などを打ち破って実現させるほどの力が、住民

には残っているか？ その時代の要求に応えるのが、ナルクなどのボランティア活動である。時代も政策も変わる、福祉の仕組みを変えても、地域や行政だけでは無理。今の少子高齢化社会では、育児対策も急がれる。地域社会の暖かい心を引き出し、子供も老人も、地域住民として、人の心を持って仲間と話したい気持ちだろう。

#### 2. 活動拠点報告 中標津拠点・山崎 弘 代表、宮城拠点・林 茂 代代表。北海道地域の特性。津波被災地の状況を話された。

#### 3. パネルディスカッション「被災地で高齢化社会を考える」。高畑会長プレゼンテーション要旨：少子高齢化の現在、ナルクなどのボランティアは何をすれば良いか。孤独死対策、子育て支援、成年後見、介護など、地域の支え合いの絆が被災地の復興にも繋がるのではないか。

#### 4. パネラー4人が被災地の実態とニーズ、復興のポイント、社会保障や日本

経済のゆくえなどを語る。①. 仮設住宅自治会長、狭い仮設での長期生活と、職と住への展望が開けず、高齢者・弱者が残る希望の見えにくい現状だ。②. 河北新報記者、国の縦割り行政は非効率的で予算は有っても人手不足が復興を遅らせている。③読売新聞社会保障部次長、少子高齢化と国の財政悪化が社会保障に影響



(全国紙としての捉え方)。④日経新聞映像報道部長、国債の多発で日本経済が長期金利の上昇を招く危機あり(国際経済での日本の地位低下を懸念)。

感想：堀田先生や高畑会長が、地域を包括した社会保障の支えに、ボランティア活動を組み込む構想を示された。他方、報道関係者は各自の現在位置から観た社会を語った。我々の視野を広めるよい勉強になった。(佐塚)



## ナルク設立20周年記念行事に参加して

ナルク栃木会員115名が(2014年)5月26日・27日、ナルク本部設立20周年記念行事に参加するため、バス3台で、仙台、石巻、女川方面へ旅行。全員揃いの黄色のベストを着用し11時30分に会場・仙台市電力ホール着、20周年記念シンポジウムに参加(写真:上)。終了後に作並温泉、ホテルグリーングリーンへ、入浴後盛大な宴会を挙行、会話、カラオケ、ダンスなどで大変盛り上がる。

翌日は女川町出島での植樹班(バス2台)と石巻市・女川町被災地訪問班(バス1台)に分かれ出発。植樹班は女川港にて小雨にあい、雨合羽に長靴の完全装備で乗船、出島に向う。到着後、屈強(?)男性の穴掘り先発隊10名は車で先行し、残りは徒歩で雨の中、坂を25分ほど上り目的地、女川町立女川第2中学校、同第4小学校(注:ここは震災・津波時に島民が避難した場所)の植樹現場に到着。

雨の中、船の時間に制約された忙しい植樹作業。持参した桜苗木(写真:中)など155本を無事植える。植樹後水撒きは雨が幸いし不要になる。

港に引き返す途中、大樹の上枝に海に浮かべる「浮き玉」がぶら下がり、津波が“こんな高くまで”ものすごさを語っていた。地元の美人女性(島内で唯一の民宿経営)からムール貝やキャラ露の差し入れを頂き、地元も歓迎してくれた。さくらの樹に女川町の復興を託して出島の港を後にした。

一方被災地訪問班は、多くの子供達が津波で流された大川小学校被災跡地(写真:下)を訪ね、ご冥福を祈ると共に、復興支援の一助にと、道の駅や商店街で買い物をした。女川町の蒲鉾本舗で植樹班と合流し、帰路に就く、21時頃に全員無事に出発の地点に帰着。

ナルク栃木の仲間が1泊2日共に行動した素晴らしい心に残る旅でした、幹事さんに感謝。(安場)

### 参加者の意見・感想： 帰路2号車内で聞く。

- 今回の堀田先生のお話で、地域包括支援は「身体支援」と「心の支援」、心の支援はNPOナルクの出番と思う。
- 植樹で島の人々の心として、花の島にしたいとの願いから、ムール貝やキャラ露の差し入れを頂いた、「その心」にひどく感激した。
- 小学校で被災者のお母さんが涙ながらに訴えていた言葉に涙を誘われた。
- 蒲鉾店、道の駅等で、我々の買い物も復興支援の一助となったと思う。
- ナルクは素晴らしい、この行事で感心した、今後は積極的に参加したい、総会に欠席のはがきを出したが友達2人を誘い出席にする。



## コロナ禍の下、令和2年度ナルク栃木福祉調査センターの活動

コロナ禍の下、活動や外部評価活動は、徹底した感染防止対策の下で自粛と工夫をし、次のような活動になりました。

### 1. 当調査センター活動

- ・役員会：4月、5月の役員会を中止し6月から感染症防止対策の下で開催。
- ・評価調査員勉強会：4月予定を中止し資料配布に切り替え。
- ・外部評価審査委員会：5月と11月予定の開催を中止。

### 2. 外部評価活動について

県内でもクラスター感染が、高齢者施設やグループホームで発生し、感染防止策として、家族などの訪問・面会を禁止するなど徹底した防止対策をしています。このような背景で外部評価は、所属法人等の意見・要請を受け、次の取組をしました。

- ・受託、契約活動：4月、5月は訪問から電話、FAXを活用し無事完了。
- ・9月以降の外部評価活動：緊急事態宣言発出（昨年4月）により、契約済24グループホームの外部評価活動は9月から状況に応じた方法で開始。
- ・訪問調査時間の短縮：午前中の2時間に短縮。
- ・事業所内の見学評価中止：事務室等別室で管理者との対話。
- ・資料による外部評価：訪問調査を止め事業所の資料と書類やメールで実施。

### 3. 1月末現在の令和2年度外部評価実施状況は下記の通りです。

- ・外部評価実施：18グループホーム
- ・2月外部評価実施予定：4グループホーム
- ・3月外部評価実施予定：2グループホーム

### 4. 保育園の第三者評価は緊急事態宣言発出（1月）の下、初のリモート調査。

・宇都宮市独自の緊急事態宣言の下、那須塩原市保育課が訪問調査を電話聞き取りに変更を打診。これは無理としZoomでのリモート調査を提案。保育園は市からiPadを借りZoomの使用法を習得。評価調査者3名は各自宅のPCに接続するも、2名はZoom初心者（前日に接続、当日ぶっつけ本番）。

・初回Zoom会議招待メールを送る。（翌日政府が栃木県も緊急事態宣言を発出）。保育園とはZoom接続し、1名が聞き取り調査開始。遅れて調査者2名も接続でき、何とか行きました（右の写真：保育園と調査者小松）。

・2日目：調査者3名事前に接続テストをし、順調に進み、保育士等の面談は電話利用に切替えた。

・Zoom調査：資料を画面共有し進行、保育園側が、iPadを持ち歩いて園児の昼食風景など園内の様子の中継し、現地調査を充分補完できました。（文責：走出）





## 《1月とにかく集まろう会》

1月6日、三密を避けるために、前・後2つに分けた1つ、前半の集まろう会は実施しました。

始に走出代表から「今はコロナ禍にあり皆さんは、新年をどのように過ごされましたか？今後も感染しないように気をつけて下さい」。

との挨拶でスタートしました。

皆さんから各々の発言があり、不要不急をさけて出来る限り家で過ごす事。人混みを避けて出来る範囲でウォーキングする事が良い。など話し合いましたが、今後の進め方として、「宇都宮市自体が感染爆発緊急事態なので、1月後半予定した集まろう会から、当分の間は中止にします」となりました。皆さんには、コロナはもとより、先ず風邪を引かないように、健康第一としてお体には気をつけてお過ごし下さい。

※次回1月20日(水)集まろう会からは、しばらくの間(安全に集まれるまで)中止再開する時は連絡します (記)高橋

## ☆会報で会員皆様の心を繋ぎましょう☆

### コロナ禍の下、皆様如何お過ごしですか？

皆様ご存じのように緊急事態宣言は、2月7日に栃木県のみは解除されましたが、東京都と隣接3県などでは3月7日迄延長されました。現状ではコロナ罹患者が入院もままならず、まだまだ安心できません。コロナ撲滅には三密や“不要不急な外出”抑制には極力協調すべきと思います。

現状ではコロナ禍で皆様の活動が少なくなり、ナルクの会報原稿・紙面も少なくなります。しかし、我々の会報までも薄くなればナルクと、会員皆様との接点も薄くなる懸念があります。せめて皆様に会報を出来るだけお読み頂きたく、次のように努めます。

1. 皆様に会報を楽しんでもらうため、6月号でスタートの“ナルクを支える仲間達”はお陰様で好評のようです。
2. 今月号より昔をしのぶ、“思い出の1ページ”を掲載しました。10年～15年前、皆様が若かったころ、或いは未だナルク会員でなかった時代の「素晴らしいナルク栃木」の活躍をご覧ください。
3. 会員皆様からは“ナルクへの想いや日頃感じておられること、同好会のことなど”、原稿をいただき、紙面を賑わしてもらいたいです。
4. やがて、自由に活動できる時が戻ってくる筈です。現在のナルクの力を温存・強化し、自由に楽しく活動できる時を待ちましょう。(佐塚)



**同好会活動予定** 2月15日～

不明な点は、それぞれの連絡先・世話人へお願いします。

書道教室	連絡先：黒川良子 携帯：090-2761-8561 当分の間休み
男の料理教室	連絡先：吉川孝人 Tel・Fax 028-648-8635 2月3月、中止と致します
カラオケ友友会	連絡先：鈴木忠男 携帯 090-1042-7197 今年度は休み
ゴルフ同好会	連絡先：吉川孝人 Tel・Fax 028-648-8635 2月休み。3月18日(木) JGM・宇都宮コース
パソコン同好会	連絡先：三浦則夫 Tel 080-5407-1272 当分の間休み
うたごえ友友	連絡先：堀 実 Tel・Fax 028-653-6954 当分の間休み
女子会	連絡先：鈴木節子 携帯 090-2253-4333 当分の間休み
5・7・5を 楽しむ会	世話人：芝尾英三 Tel・Fax 028-643-8523 当分の間休み
吟華の会	連絡先：月岡光江 Tel 028-635-4177 当分の間休み
新げんじの会	世話人：須藤典子 Tel 028-667-4877 当分の間休み

1月分アルミ缶活動便り	・ ・ ご協力に感謝します ・ ・
-------------	-------------------

1月25日にアルミ缶整理作業を実施しました。前日の曇り空が晴れてスッキリした日になりました。大谷は少し寒いのか、現場の水溜まりが凍っており、滑り易くなっていましたが、日が高くなるにつれ氷も融け、事故もなく作業は終了しました。実績は下表のとおりです。1月18日に昭和アルミリサイクルセンターに出荷しました。2月10日に入金予定です。

整理作業参加人数	13名	4月からの延べ人数	116名
処理した缶数	4,960個	4月からの累積数	92,099個
収集作業参加人数	19名	4月からの延べ実人数	68名

\*次回は、2月22日(月)で、9:00から実施します。

多くの方の参加をお願いします。(安場)

団体賛助会員： 恵産業株式会社、株式会社小牧工業、真木クリニック、  
パナソニックホームズ北関東株式会社、有限会社セイゴウ、株式会社マルハ  
株式会社ティ・エム・エフ、つるた family クリニック、